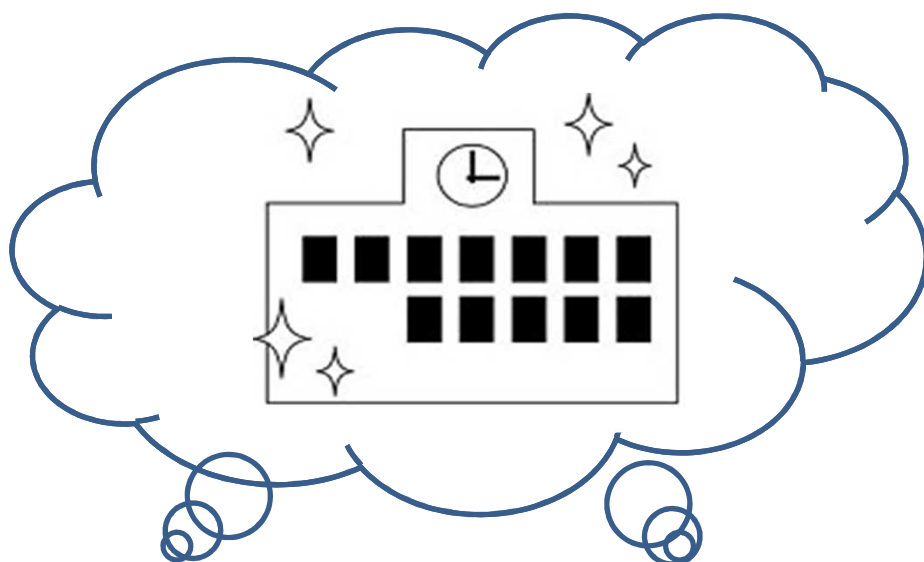




平成24年度 決算報告

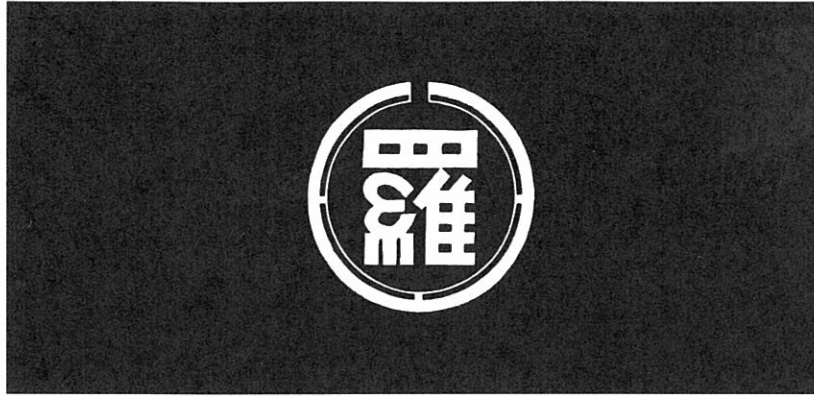
羅白の台所事情

～ 町のお金はこのように使われました ～



羅白町役場 税務財政課

◆平成25年12月発行◆



町章

町章は羅臼の臼を輪にして和を表わし、和をもってこの町の発展を希って定められたものである。〔制作:佐々木治一郎〕

〔開村五十周年記念、昭和25年(1950)10月3日制定〕

羅臼町歌

(荘重に)

土谷孝信 作詞・飯田三郎 作曲

mf

くもをぬきききりーをふくわが
まちのほこりひとしくあおぐそのむねに
そせんのちしおはよみがえるあ
あちらなりわれらがわれらが
らうすだーけ

羅臼町歌

作詞 土谷孝信
作曲 飯田三郎

一、雲を抜き霧をふく

わが町の誇り

等しく仰ぐその胸に

祖先の血潮はよみがえる

あ、父なり

われらがわれらが羅臼岳

二、茫洋とはてしなき

わが町ののぞみ

等しく望むその胸に

久遠の愛は波のごと

あ、母なり

われらがわれらがオホーツク海

三、父母に抱かれし

わが町の幸よ

手をあぐればその胸に

希望の潮はわかえる

あ、栄あり

われらがわれらが羅臼町

羅臼町のお金の使われ方について説明します。皆さんの支払った税金や国・道から支払われるお金がどれだけあり、どのようなところに使われているのかをお知らせします。



町には6つの会計があり、それぞれ歳入と歳出があります。全体を見てみましょう。

平成24年度 決算

		歳入	歳出	差引
1.一般会計		38億8,593万円	37億5,221万円	1億3,372万円
特別会計	2.国民健康保険	12億2,638万円	11億4,663万円	7,975万円
	3.介護保険	4億5,158万円	4億3,238万円	1,920万円
	4.後期高齢者医療	5,445万円	5,436万円	9万円
	5.国民健康保険診療所	8億4,808万円	8億4,502万円	306万円
公営企業会計	6.水道事業	2億5,744万円	3億1,778万円	△6,034万円

※本書に掲載している数字については、端数処理を行なっています。

平成24年度は、消防共通波デジタル無線整備や、診療所建設事業の最終年度でした。また、小規模特養「ふくろうの郷」の開所、金環日食、クマの出没多発、強風や大雪による災害等、色々なことがありました。

知床らうす診療所については、指定管理者による運営を開始し、1年以上経過しましたが、健全な医療の使い方を継続することで、「町の医療を守る」ということに直結するものと考えます。

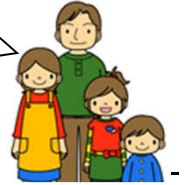
平成25年度から、次代を担う子供たちのために、老朽化した中学校の改築に向け、町民の意見を傾聴し、事業を進めてまいります。

今後とも、町政運営にご理解とご協力をお願いします。

歳入

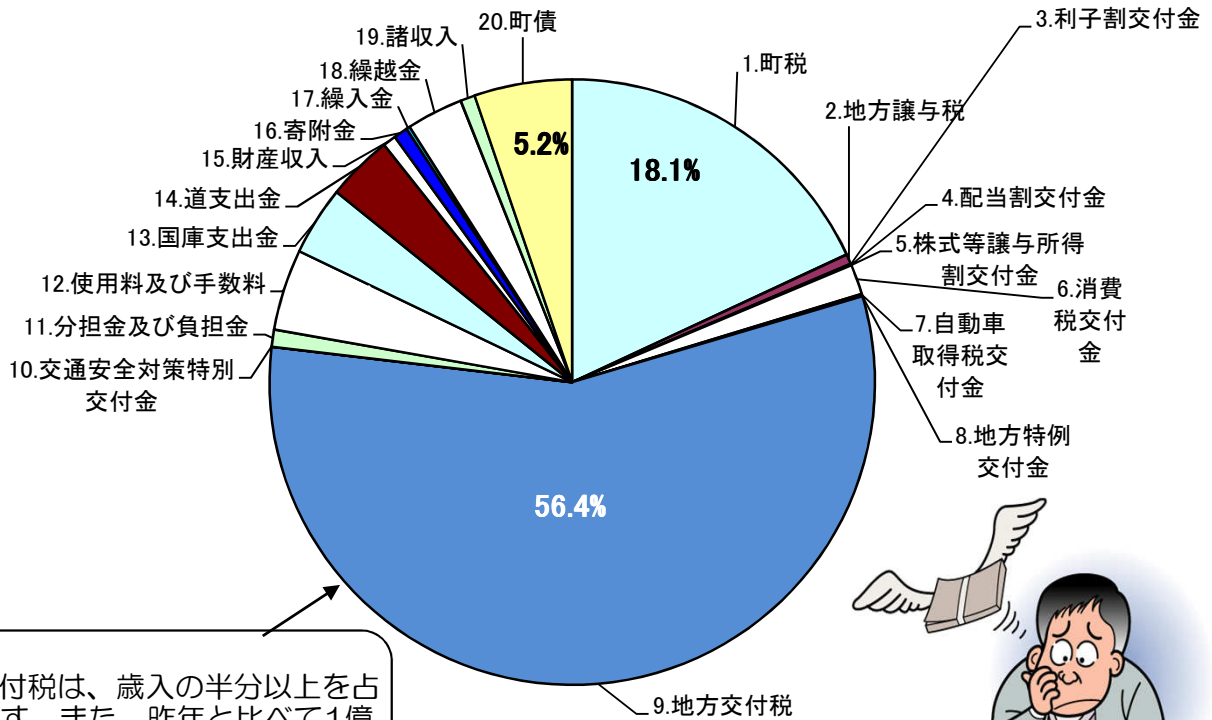
(町に入ってくるお金です)

私たちが納めた税金は、
全体の18.1%です。



1.町税	7億 248万円	町民の皆さんからの税金
2.地方譲与税	2,058万円	自動車重量税等、国税から町への配分
3.利子割交付金	190万円	預金利子に係る税の交付金
4.配当割交付金	81万円	株式等の配当に対する道税からの配分
5.株式等譲与所得割交付金	22万円	株式等の譲渡益に対する道税からの配分
6.地方消費税交付金	6,255万円	国から町に交付される消費税
7.自動車取得税交付金	444万円	自動車取得税の交付金
8.地方特例交付金	63万円	国の減税により町の収入不足を補うための交付金
9.地方交付税	21億 9,357万円	国から配分される税金
10.交通安全対策特別交付金	0万円	交通安全対策のための交付金
11.分担金及び負担金	3,567万円	幼稚園や福祉施設などの利用者の負担金
12.使用料及び手数料	1億 6,818万円	町営住宅使用料や戸籍等の証明手数料
13.国庫支出金	1億 4,335万円	国からの補助金や負担金
14.道支出金	1億 3,684万円	道からの補助金や負担金
15.財産収入	2,747万円	町有財産の賃貸料や預金利息
16.寄附金	2,874万円	町民の皆さんや多くの方々からの寄附金
17.繰入金	772万円	町の貯金(基金)からの繰入金
18.繰越金	1億 1,738万円	前年度から持ち越したお金
19.諸収入	3,040万円	その他の収入
20.町債	2億 300万円	地方交付税の削減分の一部を借りるお金や建設事業を実施するための借金

歳入総額 38億8,593万円



9.地方交付税は、歳入の半分以上を占めています。また、昨年と比べて1億1200万円程度増加しています。



歳出

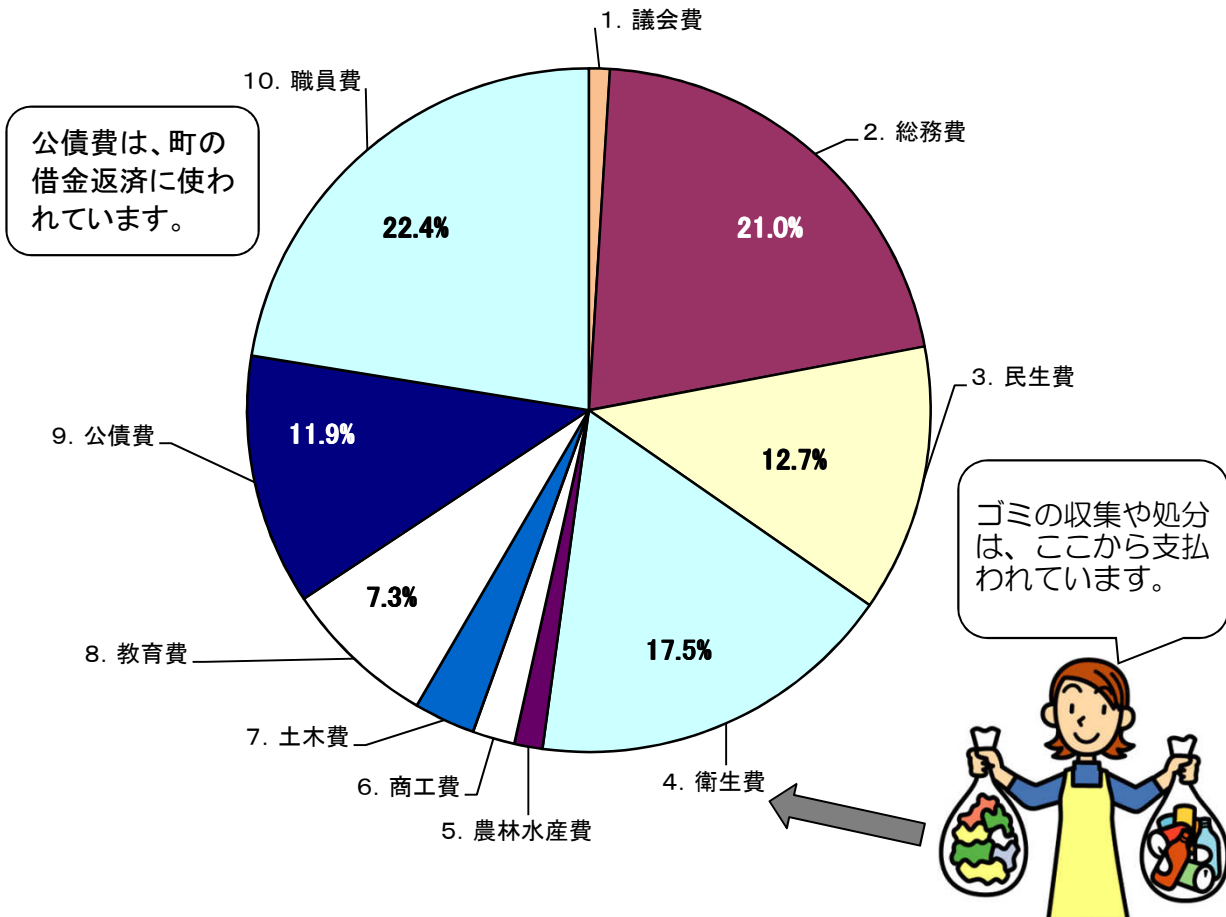
(町のために使われたお金です)

1. 議会費	3,716 万円	議員の報酬や議会活動のための経費
2. 総務費	7 億 8,877 万円	町の財産管理や消防署を運営するための経費
3. 民生費	4 億 7,473 万円	高齢者や身体障がい者等の福祉などの経費
4. 衛生費	6 億 5,707 万円	保健、合併浄化槽、ゴミ等の環境対策の経費
5. 農林水産費	4,976 万円	農林・水産業の振興や深層水活用等の経費
6. 商工費	7,516 万円	商工業・観光振興や世界自然遺産の保護管理等の経費
7. 土木費	1 億 858 万円	道路整備、維持補修や除雪等の経費
8. 教育費	2 億 7,394 万円	小中学校や幼稚園、社会教育、体育館事業等の経費
9. 公債費	4 億 4,469 万円	事業を行うために借りたお金の償還金
10. 職員費	8 億 4,235 万円	職員の人件費



昨年と比べ、約3億6,400万円の支出減となっています。
各費目の詳しい支出については次のページをご覧ください。

歳出総額 37億5,221万円



★どんな事に使われているのでしょうか？★

1 議会費	議会議員の報酬や議会運営するための経費	3,716 万円
-------	---------------------	----------

2 総務費		7 億 8,877 万円
	役場庁舎の管理費	2,612 万円
	消防署を運営するための負担金	2 億 5,013 万円
	中学校建設基金やまちづくり基金（貯金）等	2 億 6,799 万円
	町内バス（100円バス）を運行するための委託料	3,125 万円
	公営住宅の補修費等	1,037 万円
	町内防犯灯や電気料補助等	356 万円
	電子自治体情報システム負担金や町ホームページの経費	2,244 万円
	防災無線維持管理費	601 万円
	その他公立学校住宅償還金や各種選挙の経費等	1 億 7,090 万円



消防署では、町民の安心・安全な暮らしを守るために活動しています。



3 民生費		4 億 7,473 万円
	福寿園の管理運営費	577 万円
	福寿園のデイサービス業務運営の委託経費	2,093 万円
	老人ホーム入所に係る措置費	299 万円
	身体障がい者補装具給付費や施設入所支援費	1 億 172 万円
	特別会計（国民健康保険）への繰出金	6,700 万円
	特別会計（介護保険）への繰出金	6,252 万円
	特別会計（後期高齢者医療）への繰出金	1,735 万円
	子ども手当等の給付	9,702 万円
	その他介護予防生活支援事業や重度心身障がい者医療扶助等	9,943 万円



4 衛生費

6億 5,707万円

生活習慣病・がん検診・各種予防接種に関する経費	1,651万円
葬斎場や墓地管理運営経費	880万円
特別会計（国保診療所）への繰出金	1億 7,301万円
公営企業会計（水道事業）への繰出金	5,729万円
合併浄化槽を普及するための助成金等	1,163万円
し尿処理やゴミの収集・処分に係る経費	3億 5,779万円
アキサケの内臓やイカゴロ等の水産物から出る処分費	1,650万円
その他乳幼児医療助成や鳥獣保護管理費等	1,554万円



毎年、ゴミ処理等に約3億円以上使っています。ゴミの量を減らしリサイクルを進めましょう！

5 農林水産業費

4,976万円

家畜排せつ処理施設整備に係る経費等	947万円
土砂崩れや雪崩等を防ぐ保安のための経費	115万円
ウニの生育範囲を広げるための事業	556万円
漁港の整備や維持管理費	1,206万円
深層水給水施設整備や管理費	299万円
その他ウニ種苗生産施設や北方領土隣接地域振興事業に要する経費等	1,853万円



6 商工費

7,516万円

商工会を運営するための補助金	966万円
知床開きを実施するための経費	450万円
道の駅内の知床らうす交流センター管理費	732万円
観光協会を運営するための補助金	732万円
公園管理等に要する経費	530万円
世界自然遺産保護のため知床財団への出資金等	142万円
温泉の整備や維持管理費	1,153万円
その他中小企業資金利子補給金やビジターセンター管理費等	2,811万円



7 土木費

1億 858万円

除雪機の借上料・除雪委託料や道路修繕料等	1億	140万円
その他道路・排水施設工事		718万円

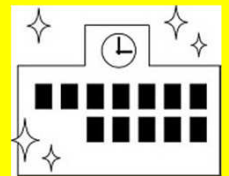


通年の積雪であれば、除雪費等が4千万円ぐらいで済みますが、雪の量が多かったので、1億円以上にもなりました。

8 教育費

2億 7,394万円

英語指導助手を招くための経費	427万円
各学校のコンピューターリース料等	849万円
各小学校を管理運営するための経費	4,116万円
各中学校を管理運営するための経費	2,862万円
各幼稚園を管理運営するための経費	1,866万円
ふるさと少年探険隊等の事業に係る経費	187万円
公民館の管理運営費	1,416万円
体育館の管理運営費	1,262万円
総合グラウンド管理運営費	938万円
温水プール管理運営費	2,410万円
給食センター管理運営費	6,028万円
その他図書室・郷土資料室やスポーツ振興事業等	5,033万円

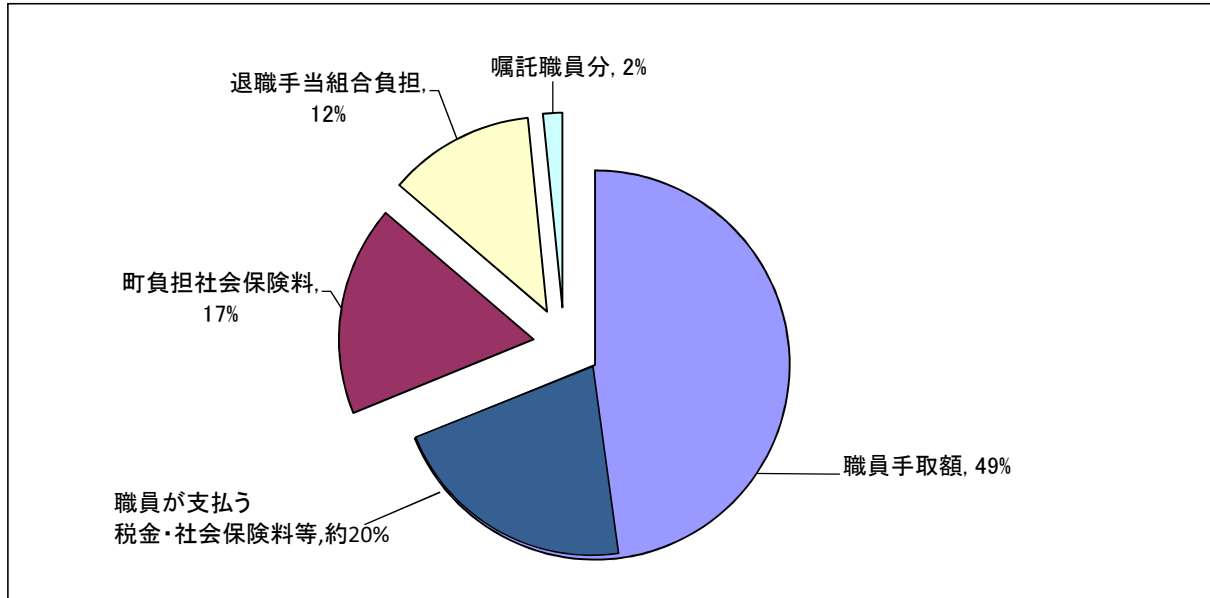


9 公債費

1年間の借金返済額

4億 4,469万円

●職員費全体の支出構成内訳です。



本俸と手当から所得税・町民税・社会保険料・年金等の天引きをし、職員に支払われます。



★町の貯金と借金を町民一人あたりとして計算すると★

ここでは、羅臼町の貯金と借金を町民一人当たりで計算してみたら、いくらになるか計算してみました。



○羅臼町の人口（平成25年3月末人口）
5,774 人

町の人口は
減少傾向です

○貯金（基金という）：全ての会計合計
19億 5,621 万円

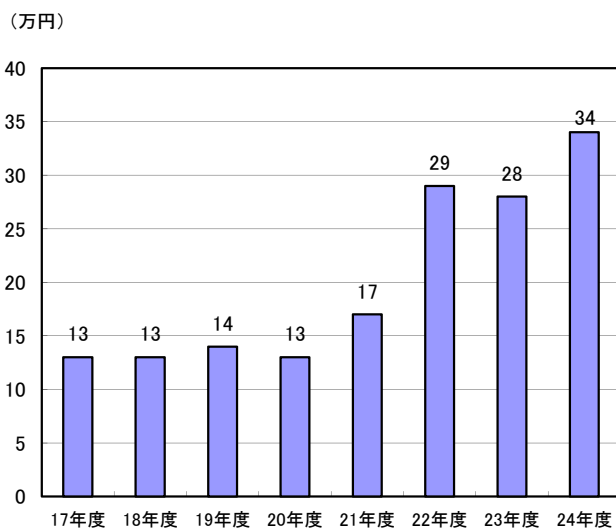
○借金（一般会計起債及び水道会計起債）
53億 6,123 万円

これを元に一人あたりとして計算してみると・・・



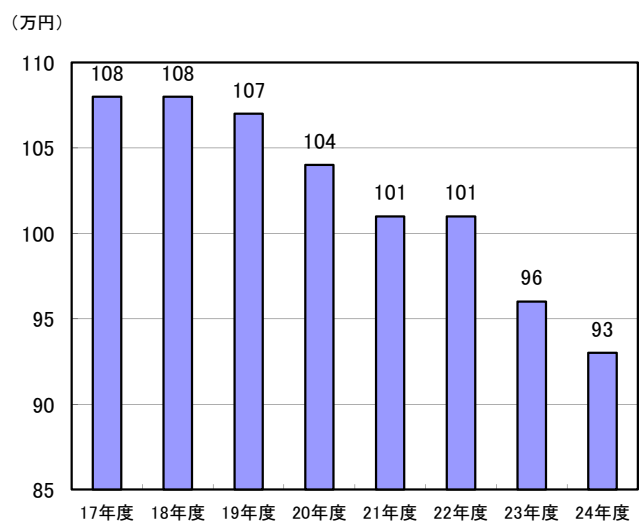
24年度末の
貯金は約34
万円です。

これまでの貯金の推移



24年度末の
借金は約93万
円です。

これまでの借金の推移



今までは、一般会計について説明しましたが、特別会計や公営企業会計についても簡単に説明します。
使われている金額は、1ページをご覧ください。



特別会計	国民健康保険	町全体の50%以上の方が国民健康保険に加入しています。病院受診をした時に本人が支払っているのは3割で、残り7割は国民健康保険から各病院に支払いしています。
	介護保険	高齢により体が不自由になったり認知症の方などが、ヘルパーさんを使った生活介護、施設入所などした場合の料金の9割を支払いしています。 (利用する上で、認定が必要です)
	後期高齢者医療	75歳以上および65歳以上の一定以上の障害のある方が、後期高齢者医療の被保険者になります。 (※70歳以上は原則1割。現役並みの所得を有する者は3割)
	国民健康保険診療所	知床らうす国保診療所の運営に関わる経費です。平成24年7月から指定管理者制度により社会医療法人孝仁会において運営しています。
公営企業会計	水道事業	町内にある3ヶ所の水道施設の維持管理をし、皆さんの家庭まで安全でおいしい水を供給しています。



特別会計や公営企業会計にはそれぞれの役割があるんですね。

滞納が財政を圧迫しています。

～税金や使用料等の滞納状況～

町	税	1億3,430万円
国	保 税	1億5,258万円
介 護 保 険 料		755万円
水 道 料		2,332万円
給 食 費 負 担 金		380万円
後期高齢者医療保険料		11万円
診 療 所 診 療 収 入		272万円
住 宅 使 用 料		3,541万円
土地使用料・その他		1,378万円
合	計	3億7,357万円

町民は、税金や使用料を支払う義務があり、その支払われたお金は町の運営を支えるための重要なものです。

しかし、上記のとおり多額の滞納があり、町の運営に大きな支障となっています。

町では公正・公明・公平の観点から滞納金の回収に力をいれており、税については町独自の差押さえはもとより、釧路・根室広域地方税滞納整理機構を活用しながら、強力に滞納整理を推し進めています。